

# 漁海況通信

長崎県総合水産試験場 漁業資源部 海洋資源科  
 〒851-2213 長崎市多以良町 1551-4 電話 095-850-6304 FAX 095-850-6346  
 ホームページアドレス <http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>

**対馬海区におけるヨコワ（クロマグロ幼魚）漁況予報**  
**「対馬海区における10-3月のヨコワ来遊量は前年を上回るでしょう。」**

## 予測の考え方

- 本県では、南西諸島周辺（太平洋発生群）で生まれ日本海で高水温期を過ごしたクロマグロ稚魚を主体として、これに日本海（日本海発生群）で生まれたクロマグロ稚魚が加わり、秋期から冬期に南下回遊してきた群を漁獲対象としています。
- 対馬海区におけるヨコワ来遊量の年変動には、今年発生群の資源水準、および秋期～冬期の九州西沖海域の水温が関係していると考えられています。

## 予測の根拠

### ① 今年発生群の資源水準

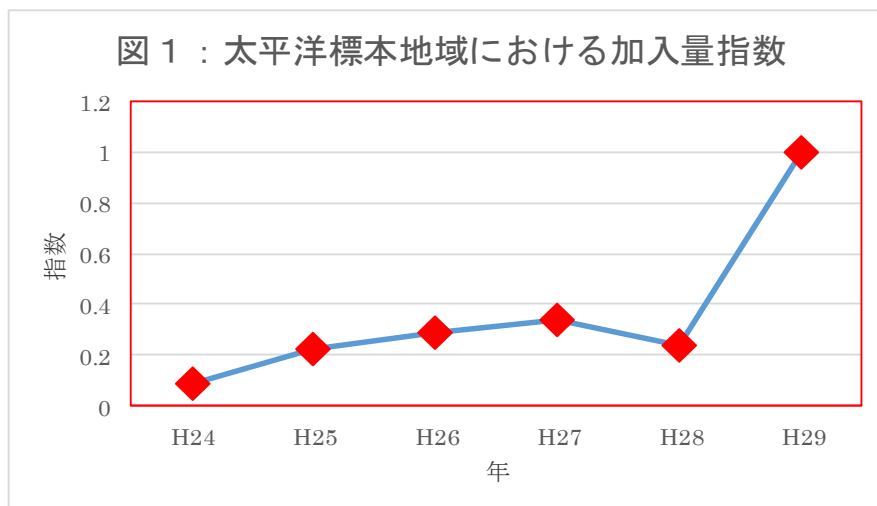
高知県の0才魚漁獲量から推定される太平洋発生群の加入量は前年を上回りました（図1）。更に日本海では、0歳魚の来遊が多いとの情報があることから、本年の日本海発生群の水準も高いと考えられます。このことから、両海域を考慮した今年発生群の資源水準は概ね前年を上回ると考えられます。

### ② 秋期～冬期の水温

九州西沖海域の水温条件としては、「平年並か平年より高くなるでしょう」と予想されていることから（海面水温・海流1か月予報：気象庁より）、ヨコワ魚群の滞留にはプラス要素となると考えられます。

以上より今期は太平洋発生群の豊度は高く、日本海発生群の加入も多いと見込まれ、更に今期の滞留条件も良好と考えられることから

**対馬海区における平成29年度漁期（10～3月）の来遊量は前年を上回ると予測しました。**



上回る	並み	下回る
前年の1.2倍以上	前年の0.8倍～1.2倍	前年の0.8倍以下